



42日と50日間の3学期が始まりました

3年生は42日、1・2年生は50日間の3学期が始まりました。3学期の始業式で、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」という文言を紹介しました。3学期の3ヶ月は、「行き、逃げ、去る」というくらい、あっという間に過ぎてしまいます。寒さが厳しく、曇りがちで風も強く、誰しも朝起きるのがつらいのですが、この季節を乗り越えれば、暖かい春がやってきて、新しいステージに歩み出すこととなります。

今日からの3学期は、実際に日数が短いのですが、それ以上に早く過ぎ去るようになってしまいますので、しっかりとした目標をもってスタートを切ってください。3学期に起こる、良いこと、悪いことに、喜んだり、悲しんだりしながら、それらを一つ一つ乗り越える経験を積み重ねて成長していきましょう。

「できるかできないか」ではなく「するかしないか」

今、みなさんは、寒い冬に耐えながらまじめに学校生活に取り組み、身体、心、学力を成長させています。よくがんばれているのですが、更に自分を一步高めるためには、「先生に教えてもらう」から「自ら学ぶ」へと変わっていかねばなりません。授業でも、家庭学習でも、部活動でも、与えられるのを待っているだけでは、いつか前進は止まってしまいます。難しくても、つらくても、自分から・自分の意志でやるべき事や、っていく力を身に付けなければなりません。自分を甘やかさず、常に厳しく、学び、努力し続ける姿勢が大切です。

南方の暖かい地域で育った樹木は、木に締まりがなく、木材としての価値は低いとされます。気温が高く雨の多い気候は、木が育つ条件として恵まれ過ぎているからです。一方、日光が乏しく、厳しい寒さに直面する北国の樹木は、木が締まり、良質の木材に成長します。

人間も同じです。難しいこと、苦しいことに出会ったら、「自分を鍛えるチャンス」「一段と成長するチャンス」と前向きに考えてください。そして自分を鍛えることを通して、「学ぶこと・成長すること」の厳しさを感じるとともに、その厳しさからあふれ出てくる喜びを味わってください。

もちろん、努力をしてもよい結果が出ることはばかりではありません。「結果より努力が大切」とよく言われますが、これは、結果が出なかった人へのなぐさめではないのです。「できない、できない、できない、……」が続いていて、あるとき急にできるようになる。努力することによって見えない力が蓄積されて、あるときそれがあふれ出す。そのときに、「できるようになる」のです。

しかし、「自分はできない」とあきらめてしまっている人の多くは、結局何もしないまま終わってしまうのです。重要なのは「できるかできないか」ではなく、「するかしないか」なのです。人間が、できなかったことができるようになるときは、何もしないでいて、突然何かが変わってできるようになるわけではありません。

確かに、できなくても、分からなくても努力するというのは辛(つら)いものです。結果が出ないのに努力を続けることは、最も困難なことの一つです。ただ、すぐあきらめる人は、何も成し遂(と)げられません。あきらめることが習慣になってしまう人もいます。

できない状態が続いているけど、「努力している間、自分の中にたまっている見えない力がある、それが限界点までたまると、できるようになるのだ」と考えて、努力を続けるのです。

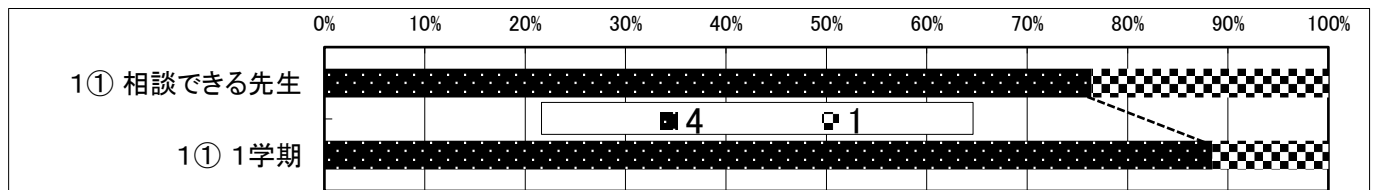
地区アンサンブルコンテスト

12月26日(日) 詫間町マリンウエーブ

- ・クラリネット三重奏 金賞
吉田 芽生、西川 真衣、三木 柚菜
- ・木管三重奏 銀賞
吉田 芽生、林本 結宇、鈴木 彩芭
- ・サキソフーン三重奏 銀賞
福岡 葉子、草水 梨瑚、馬場 彩佳
- ・打楽器三重奏 銀賞
則久 歩初音、藤井 檜向、福田 虹音
- ・金管七重奏 銅賞
小林 清流、大塚 憧子、石川 夕珠、白石 桃子
田尾 優奈、岸本 ひなた、詫間 朱珂
- ・金管四重奏 銅賞
大塚 憧子、好井 仁胡、富山 風香、詫間 朱珂

学校教育に関する保護者アンケート(2学期) 集計結果

3学期以降の学校教育改善の参考にさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



令和3年度 学校教育に関する保護者アンケート(2学期) 全学年

